



from New York

左/どこかノワールな雰囲気も。右/向かいの倉庫の壁にはアーティストESP0のグラフィティ。手前には昔ながらのブルックリンの風景を、イーストリバー越しにマンハッタンを望む。

ウィリアムズバーグの粋を体現、〈ワイズ・ホテル〉。

オープン前から地元クリエイターの熱い注目を浴びていた〈ワイズ・ホテル〉が、いよいよ営業を開始した。味わい深いレトロモダンな建物は、もともと1901年に建てられた木樽製造工場。本来の姿を生かしながら改築し、建物から出た古材はベッドや床に再利用。古い樽材も1階レストラン〈レイナース〉の薪オープンでくべて調理に使っている。店を率いるのはアンドリュー・ターロウ。レストラン〈マーロウ&サンズ〉をはじめ、食

を主軸にウィリアムズバーグ文化を牽引するキーパーソンだ。

客室には地元メーカー〈Goldies〉のバスグッズが備えられ、壁紙もブルックリンの〈Flavor Paper〉。ナイキからミュージシャンのジョン・レジェンドまで幅広い顧客を誇る、今や引っ張りだこの壁紙デザイン集団だ。隅々まで美意識が行き届いていながら、ゆるやかな空気にはっと心がほぐれるブルックリン気質、ぜひこのホテルで味わってみては。



ウィリアムズバーグで遊ぶのに最適なロケーション。マンハッタンにも、Bedford Avenue駅などから地下鉄で1駅。● (Wythe Hotel) 80 Wythe Ave., at N. 11th Williamsburg, Brooklyn, New York ☎ (31)718-460-8000。1泊175〜450ドル。全22室。地上10階建て。http://wythehotel.com/



3



2



1

1 エッグマヨネーズ、4ドル。ピンク色は行者ニンニクの酢漬け。2 ロシア・ケールなど地元野菜のローストと自家焙煎リコッタチーズ、12ドル。3 〈レイナース〉では肉料理もぜひ。